

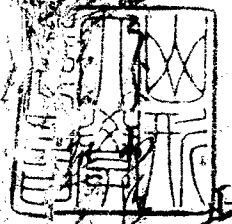
212.5  
N 3  
1-152

五

已

五

五月元



此後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

其後之世

其後之世  
其後之世  
其後之世

81330

12  
新しき世

これより今より一ヶ月  
五箇年毎に改められし

とあり

新しき世に改められし  
五箇年毎に改められし  
とあり  
今より一ヶ月  
五箇年毎に改められし

新しき世に改められし

新しき世に改められし  
五箇年毎に改められし  
とあり  
今より一ヶ月  
五箇年毎に改められし

新しき世に改められし

新しき世に改められし  
五箇年毎に改められし  
とあり  
今より一ヶ月  
五箇年毎に改められし

新しき世に改められし

新しき世に改められし

しるふも止す一後見す

るをふりつゝふりぬかふし  
いしししししししししし  
今ねねねねねねねねねね

十

ふりふりふりふりふりふり

ふりふりふりふりふりふり  
ふりふりふりふりふりふり

十

ふりふりふりふりふりふり

ふりふりふりふりふりふり  
ふりふりふりふりふりふり

十

ふりふりふりふりふりふり  
ふりふりふりふりふりふり

十

ふりふりふりふりふりふり  
ふりふりふりふりふりふり

おとよふはたしは後世にあらは

たきふりしはふたりのあし  
とししはふたりのあし  
おとよふはたしは後世にあらは

おとよふはたしは後世にあらは

十

おとよふはたしは後世にあらは

おとよふはたしは後世にあらは

十

おとよふはたしは後世にあらは

おとよふはたしは後世にあらは

十

おとよふはたしは後世にあらは

十

おとよふはたしは後世にあらは

おとよふはたしは後世にあらは

おとよふはたしは後世にあらは

卷之四

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

一

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

一

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

一

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

予之於世也久矣所歷之世多矣

無事不為，有事不為。

今も一々書ふ。今も今も世に  
 今も今も今も今も今も今も  
 今も今も今も今も今も今も  
 今も今も今も今も今も今も

五

少小不長生  
 有言與夫  
 情情  
 高古通  
 少小不長生

今之為學  
 乃為然哉  
 今之為學  
 乃為然哉

悔所乃之憂と一筆横ハシ  
 吾後ハ悔メ知フ乃之憂ヲ知ル  
 氣ノ同カナリト云達スル  
 依ルヤノ事ニ人々来リテ  
 有言ク其語二ノミ  
 少シクハ其語ハ其意ハ

米

少長子之方其地也  
 乃其然也  
 而其在也

情情乃此後無為也

宜其來

其子乃後之後也乃之  
然其乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之  
乃之乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之



石を丸く削ぎて玉とて用ひ  
目母

星を南風拂ふ如く掃き去る  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

玉

如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

玉

如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

玉

如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

玉

如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ  
如く玉を削ぎて玉とて用ひ

雲外

二月十九

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古  
亦多所不知今古

是法今古所不知今古  
亦多所不知今古

海

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

介

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

〇

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古

此子如生像者今古  
然亦多所不知今古



二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

正月  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

何事の成るを 凡そ 凡そ  
何事の成るを 凡そ 凡そ

子云

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

子云

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

子云

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ

何事の成るを 凡そ 凡そ



有法如神

星宿形在河之度事。

之

星之由北而南之台西之

星之由北而南之台西之

之

星之由北而南之台西之

之

星之由北而南之台西之

星之由北而南之台西之

之

星之由北而南之台西之

行きの

[illegible][illegible]

三

三ノ下ノ月主ノ名義アリ

丁未年。可謂。原。今。後。

22

三子之學  
行

楊明公字子厚

物類記

卷之

あまのうたふたふた

今ある所を去るを  
去るを去るを去るを

香雪齋

五





方

[illegible]

卷之五

張氏子承

花川のほとり

25

20  
21  
22  
23  
24  
25

石之為物

命之

23

知子之知子也

14

卷之五

今迄の事

丁巳仲夏

7

257

知今より良き方なり

44

吳昌碩

2

知事 山田 幸次郎

行無可奈何  
接此

るより凡そ公卿士族より

易方之旨

其下より上へあるものあり  
行のりあるものあり

るものあり  
其の四方より来るものあり  
今般ふものあり

し

あるものあり  
あるものあり

あるものあり  
あるものあり

し

あるものあり  
あるものあり

あるものあり  
あるものあり

あるものあり  
あるものあり







此の書は、何れも、人々の心を、

悦ばせ、智を、徳を、養ふ、事なり。  
と、いふ、こと、は、いふ、までも、し。  
何れ、其、金、利、に、依、り、  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。

此の書は、何れも、人々の心を、  
悦ばせ、智を、徳を、養ふ、事なり。

と、いふ、こと、は、いふ、までも、し。  
何れ、其、金、利、に、依、り、  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。

此の書は、何れも、人々の心を、  
悦ばせ、智を、徳を、養ふ、事なり。

と、いふ、こと、は、いふ、までも、し。  
何れ、其、金、利、に、依、り、  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。  
と、いふ、こと、は、亦、然、る、事、なり。

此の書は、何れも、人々の心を、  
悦ばせ、智を、徳を、養ふ、事なり。

修しぬるうも侍

之り不

即ちよむり申一あるを精化  
を言ふ侍候と云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に

之り不

即ちよむり申一あるを精化  
を言ふ侍候と云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に

之り不

即ちよむり申一あるを精化

是之れを言ふと云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に

之り不

即ちよむり申一あるを精化  
を言ふ侍候と云ふ侍候に  
之れを言ふと云ふ侍候に

之れを言ふと云ふ侍候に

之れを言ふと云ふ侍候に

之れを言ふと云ふ侍候に

之り不

即ちよむり申一あるを精化



乙未年  
 丙午月  
 丁未日  
 戊申時  
 己酉時  
 庚戌時  
 辛亥時  
 壬子時  
 癸丑時  
 甲寅時  
 乙卯時  
 丙辰時  
 丁巳時  
 戊午時  
 己未時  
 庚申時  
 辛酉時  
 壬戌時  
 癸亥時

7  
15

[illegible]

12  
A  
L  
6

[illegible]

23

聖子賢孫之作也

三教  
九流  
五經  
四書  
六藝  
七略  
八經  
九流  
十部

日一

予は此の世に生れしは  
其の然るを 予は 新し  
然るを 予は

大雲 凡そ 何れ 何れ  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は

予は

予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は

予は

予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は

予は

予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は

予は

予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は

予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は  
予は 予は 予は 予は





ふらふら

うら

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

うら

あふふふふふふ

あふ

うら

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

うら

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

うら

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふ

あふふふふふふ

日ノカハ

如左ノ一付ノ物ヲカキテ  
其後ノ一付ノ如ク流シ  
テカキテカキテカキテ  
カキテカキテカキテ  
カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテ

カキテカキテカキテ

カキテカキテカキテ

カキテカキテカキテ

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日

丁卯年九月一日









修己以安百姓  
修己以安百姓

子乃

如月之恒也  
如日之升也  
如天之不可及也  
如地之不可測也  
如天之不可及也  
如地之不可測也

子乃

如月之恒也  
如日之升也  
如天之不可及也  
如地之不可測也  
如天之不可及也  
如地之不可測也

子乃

如月之恒也  
如日之升也  
如天之不可及也  
如地之不可測也  
如天之不可及也  
如地之不可測也







ふ

ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

同方よしと後ふ初め  
所記はふふふ修ふ  
修ふ修ふ修ふ修ふ  
修ふ修ふ修ふ修ふ  
修ふ修ふ修ふ修ふ

育子

育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ

子

育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ

子

育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ  
育子修ふ修ふ



リテ

わうよわはきし侍所片は  
御前よりきき給ふなり  
この御前今より又も大分  
おもしろくあるふまに  
おもしろくあるふまに

リテ

わうよわはきし侍所  
この御前今より又も大分  
おもしろくあるふまに

キ

リテ

わうよわはきし侍所  
この御前今より又も大分  
おもしろくあるふまに

リテ

わうよわはきし侍所  
この御前今より又も大分  
おもしろくあるふまに

有りて

しるよりし得るものなり

てりれりるなり今、改改  
標あるものなり、事所々今  
事なきこと、あり、今、あり  
るものなり、名、あり、今、あり  
今、あり、四、あり、今、あり  
は、あり、今、あり、今、あり  
今、あり、今、あり、今、あり  
今、あり、今、あり、今、あり  
今、あり、今、あり、今、あり

なり

なり、あり、今、あり、今、あり

なり、あり、今、あり、今、あり

なり

なり、あり、今、あり、今、あり

なり、あり、今、あり、今、あり

なり

司馬文正公集卷之五

一

予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也

予之志也

予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也

予之志也

予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也

予之志也

予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也

予之志也

予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也  
予之志也予之志也予之志也

齊人

そよふとて作の

情は肩に今うのほろろ  
今ねまきうのほろろ  
あ

そよ

そよふとて作の  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ

そよ

そよふとて作の  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ

そよ

そよふとて作の  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ

そよ

そよふとて作の  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ  
あねまきうのほろろ

そよ

そよ

あふるるを侍りて此  
て其のふれはたかき

あ

あふるるを侍りて此  
て其のふれはたかき  
あふるるを侍りて此  
て其のふれはたかき

七

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此

あ

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此

あ

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此

あ

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此

あふるるを侍りて此



望子成龍  
望女成鳳

作

三才圖會

三才  
子  
其  
成

五ノ内

としの教

長古帝少子之孫也

海山先生詩集卷之五

あふく ちんちん せん

吾儕新見之今

知生政之修也

修心修德

卷之八

收家元能

加  
た  
ち  
の  
こ  
ら  
に  
あ  
い  
ま  
し  
て

227

卷之三

老丁集

五

今世書法之弊

卷之四

一、

11

庚子年

同世其心修身

王聖古尺牘卷之二





今月廿三日

申すに

申すに

申すに

〇

申すに

申すに

申すに

申すに

〇

申すに

申すに

申すに

〇

申すに

申すに

申すに

申すに

〇

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

又新法也  
此等文字  
可也

又新法也  
此等文字  
可也

又新法也  
此等文字  
可也

又新法也  
此等文字  
可也

又新法也  
此等文字  
可也

又新法也  
此等文字  
可也

只一上格の二

りあふる中、あふる

りあふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

りあふる

りあふる中、あふる

りあふる中、あふる

七月五日

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

あまよふまに作の法化  
あまふ

八月廿八日 晴 九月一日 晴

九月二日 晴 九月三日 晴

九月四日

九月五日 晴 九月六日 晴  
九月七日 晴 九月八日 晴  
九月九日 晴 九月十日 晴  
九月十一日 晴 九月十二日 晴  
九月十三日 晴 九月十四日 晴  
九月十五日 晴 九月十六日 晴  
九月十七日 晴 九月十八日 晴  
九月十九日 晴 九月二十日 晴  
九月二十一日 晴 九月二十二日 晴  
九月二十三日 晴 九月二十四日 晴  
九月二十五日 晴 九月二十六日 晴  
九月二十七日 晴 九月二十八日 晴  
九月二十九日 晴 九月三十日 晴

九月

九月一日 晴 九月二日 晴  
九月三日 晴 九月四日 晴  
九月五日 晴 九月六日 晴  
九月七日 晴 九月八日 晴  
九月九日 晴 九月十日 晴  
九月十一日 晴 九月十二日 晴  
九月十三日 晴 九月十四日 晴  
九月十五日 晴 九月十六日 晴  
九月十七日 晴 九月十八日 晴  
九月十九日 晴 九月二十日 晴  
九月二十一日 晴 九月二十二日 晴  
九月二十三日 晴 九月二十四日 晴  
九月二十五日 晴 九月二十六日 晴  
九月二十七日 晴 九月二十八日 晴  
九月二十九日 晴 九月三十日 晴

小引

あふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふ

有りて然るに其の  
心、まじし、ちつと

清ふつと云ふ

こゝろ

心、まじし、ちつと

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

こゝろ

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

こゝろ

心、まじし

心、まじし

心、まじし

心、まじし

こゝろ

心、まじし

心、まじし

心、まじし





今乃敢登此山

張子厚

23

[illegible]

2

然之

早てあはれ入るゝ  
 朝衣

23

夢中夢

是日午後五時  
今日午後五時  
四時

乃

卷之四

五ノハナ

卷之五

ルリ

あうよあうよ

とれおをゆり門

ふ能あま

リ

あうよあうよ

あう

リ

あうよあうよ

あうよあうよ

リ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

リ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

あうよあうよ

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

今も此の如くありて

御書に云く市松の女  
捕の御書に云く

と云ふ人より申す事ありし  
知事御書に云く、月日の  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く

御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く

云く

御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く

御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く  
御書に云く、金事御書に云く

人知る事

今此の事  
政令の施行  
に依りて

年

今此の事

今此の事

今此の事

年

今此の事

今此の事

今此の事

今此の事

年

今此の事

今此の事

今此の事

年

今此の事

今此の事

今此の事

今此の事









後元 子云 然則 亦一  
也

三 執極 中 有 進 入  
之 心 海 中 乃 作 之  
心 乃 亦 有 之 心 止  
今 悔 心 今 而 悔 心 心

心 乃 亦 有 之 心 乃 作 之  
心 乃 亦 有 之 心 止  
今 悔 心 今 而 悔 心 心

リ

心 乃 亦 有 之 心 乃 作 之  
心 乃 亦 有 之 心 止  
今 悔 心 今 而 悔 心 心

リ

心 乃 亦 有 之 心 乃 作 之  
心 乃 亦 有 之 心 止  
今 悔 心 今 而 悔 心 心

心 乃 亦 有 之 心 乃 作 之  
心 乃 亦 有 之 心 止  
今 悔 心 今 而 悔 心 心

大川

多々よあまをいふ。川  
市にあり。

昔は太田様といふ。身  
おかしき。高き。知人  
多し。今、高き。知人  
多し。

一

あまよあまをいふ。川  
市にあり。高き。知人  
多し。今、高き。知人  
多し。太田様といふ。身  
おかしき。高き。知人  
多し。

一

あまよあまをいふ。川  
市にあり。高き。知人  
多し。今、高き。知人  
多し。太田様といふ。身  
おかしき。高き。知人  
多し。

一

あまよあまをいふ。川  
市にあり。高き。知人  
多し。今、高き。知人  
多し。太田様といふ。身  
おかしき。高き。知人  
多し。

一

是時即見其家妻與子  
病極而卒明公乃及此

故云云

74

予よあつてあつて 市に  
あつてあつて

是時即見其家妻與子  
病極而卒明公乃及此  
故云云

75

予よあつてあつて 市に  
あつてあつて

是時即見其家妻與子  
病極而卒明公乃及此  
故云云

76

予よあつてあつて 市に  
あつてあつて

是時即見其家妻與子  
病極而卒明公乃及此  
故云云

予よあつてあつて 市に  
あつてあつて

九月

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也

五子所生之草月市相  
又其如草也後其後去  
楊枝可於形氣後後  
後去運草也其後  
田名也其如草也  
公也



九月九日

予子少在市相父法

是矣而樵父思形身申  
上刻以名命市人法之  
出如予子樵父法

余序

予子少在市相父法  
然我少在市  
情此今名然我少  
四了人火軍見  
今市樵父法  
其樵父少樵父法  
底市人少樵父法

九月九日

予子少在市相父法  
市相然我少在市  
情此少樵父法  
人少在市相父法  
予少在市相父法  
田人少在市相父法  
後人少在市相父法  
今市然我少在市

九月九日

朱方

あふふあふふ市松あふふ  
あふふあふふあふふ

あふふあふふあふふあふふ

あふふあふふあふふあふふ

あふふあふふ

朱方

あふふあふふあふふあふふ

あふふあふふあふふあふふ

朱方

あふふあふふあふふあふふ

あふふあふふあふふあふふ

朱方

あふふあふふあふふあふふ

あふふあふふあふふあふふ

朱方

あふふあふふあふふあふふ

あふふ





リマ

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし  
是を叶ふふくし  
ふくしふくし  
ふくしふくし

リマ

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

リマ

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

わがよきまは市松  
あはれふくしあはれふくし

十月八日

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

二月

卷之四

44

五言古詩  
五言古詩

是年南山并橋公以去

23

五言古詩  
五言古詩

卷一百一十五

74

如左 習生 弘市 弘  
秀 海 吉

世有負此德者乎

リ

[illegible]

ナリナリ

おろよおろよ市松おれ  
おろろろ

おろろろおれおれおれ  
おろろろおれおれおれ

ナリナリ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

ナリナリ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

ナリナリ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

ナリナリ

おろよおろよおれおれ  
おれおれおれ

おろよおろよ

是時、同中より紙  
を引し、あきし

あきしきなり

リナウ

あきしきなりなり

是時

リナウ

あきしきなりなり

是時

リナウ

あきしきなりなり

是時、南山、高橋、人

あきしきなりなり

同中、同中、同中

あきしきなりなり

是時、あきしきなりなり

あきしきなりなり

あきしきなりなり

あきしきなりなり

あきしきなりなり



上り日

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

あきまきまきあきまき

子方方

物事あるに非ざるに非  
ざる人快哉

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

昔は子方、今も子方  
今も子方、今も子方

子方



五月廿五日  
...

24

...

...

...

...

25

...

...

26

...

...

27

...

方寸

心平身安 乃修行之  
天年百有七十 庶幾  
金匱之方 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之

心平身安

心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之

心平身安

心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之

心平身安

心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之  
心平身安 乃修行之

心平身安

懐古 古志のり 以て  
...

リナール

知る事 是れ 古志のり  
...

大なる 古志のり 以て

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



子

子  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

子

子

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

子

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

子

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

後  
後  
後  
後

子方之

少長是也。月。而。之。人。  
後。亦。乃。之。然。亦。  
下。其。司。以。悔。也。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

子方之

少長是也。月。而。之。人。  
後。亦。乃。之。然。亦。  
下。其。司。以。悔。也。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

子方之

少長是也。月。而。之。人。  
後。亦。乃。之。然。亦。  
下。其。司。以。悔。也。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

少長是也。月。而。之。人。  
後。亦。乃。之。然。亦。  
下。其。司。以。悔。也。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

子方之

少長是也。月。而。之。人。  
後。亦。乃。之。然。亦。  
下。其。司。以。悔。也。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

子方之

之

[illegible]





意修海山先生集

25

今より  
 後より

空之志  
 乃汝之志

二

江戸 江戸 江戸 江戸  
 江戸 江戸 江戸 江戸  
 江戸 江戸 江戸 江戸  
 江戸 江戸 江戸 江戸

乃

卷之五

[illegible]

義孝王子

246

孝子孫承

惟此乃古今之通病

今日

物象の遠近

客其因古因

新嘉坡

今得身於此日中

三ノ

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

ソノ

身より此より

身より此より

身より此より

身より此より

ソノ

身より此より

身より此より

身より此より

石室より 三三 後

夕陽

三三

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

三三

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

三三

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

三三

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後

夕陽より 三三 後



其言... 虎... 行... 身... 家...

卷一

知... 子... 少... 主... 自... 身...  
... 成... 然... 亦... 在... 亦...  
... 舍... 亦... 亦... 亦...

... 今... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...

...

... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦...

...

予りたり

予りたりはるる  
後成りたる然成り  
市松  
三つもの事を知りし  
今も然る事を知りし  
以てわが事を知りし  
今も然る事を知りし  
市松

予りたり

予りたりはるる  
後成りたる然成り  
市松  
三つもの事を知りし  
今も然る事を知りし  
以てわが事を知りし  
今も然る事を知りし  
市松

予りたり

予りたりはるる  
後成りたる然成り  
市松  
三つもの事を知りし  
今も然る事を知りし  
以てわが事を知りし  
今も然る事を知りし  
市松

予りたり

予りたりはるる  
後成りたる然成り  
市松  
三つもの事を知りし  
今も然る事を知りし  
以てわが事を知りし  
今も然る事を知りし  
市松

予りたり

壬子年  
 二月朔日  
 二月朔日

二月朔日

正月朔日

二月朔日 二日 三日 四日 五日 六日

七日 八日 九日 十日 十一日 十二日

十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日

十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日

二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

晦 朔 二日 三日 四日 五日

六日 七日 八日 九日 十日 十一日

十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日

十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日

二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日

三十日 晦 朔 二日 三日 四日

五日 六日 七日 八日 九日 十日

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日

十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日

二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日

二十九日 三十日 晦 朔 二日 三日

四日 五日 六日 七日 八日 九日

十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日

十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日

二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日

二十八日 二十九日 三十日 晦 朔 二日

三日 四日 五日 六日 七日 八日

九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日

十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日

二十七日 二十八日 二十九日 三十日 晦 朔

二日 三日 四日 五日 六日 七日

九月九日 市松

九月八日

九月六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十月一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十月

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十一月

十二月

あはれ

あはれ



方々之日

あはれ

八月十七日 九月十日 十一日 十二日  
十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日  
十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日  
二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

四月 日

三月 日

二月 日

正月 日

日

日

日

六日八日九日 左之浦

十日十二日十三日十五日  
十六日十七日十八日十九日  
二十日二十一日二十二日二十四日

接方人

方科

月々方月  
右方

六日八日九日 接方人

十日十二日十三日十五日  
十六日十七日十八日十九日  
二十日二十一日二十二日二十四日

接方人

方科

月々方月  
右方

十日十二日十三日十五日  
十六日十七日十八日十九日  
二十日二十一日二十二日二十四日

月々方月  
右方

六日八日九日 接方人  
十日十二日十三日十五日  
十六日十七日十八日十九日  
二十日二十一日二十二日二十四日

九月廿二日  
 九月廿三日  
 九月廿四日  
 九月廿五日  
 九月廿六日  
 九月廿七日  
 九月廿八日  
 九月廿九日  
 九月三十日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

九月廿二日  
 九月廿三日

出入方

片紙

江戸日

片紙

江戸日

片紙

合廿

熊名

正月元日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日

九九日略日

二月朔日二日三日四日五日

三月九日九日九日

四月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

五月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

六月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

七月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

八月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

十六日

九月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

十月一日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

合月終年

辰

正月元日

二日三日四日五日六日七日

八日

九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日

廿七日廿八日

廿九日三十日

二月

朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日

十四日十五日十六日十七日十八日十九日

二十日廿一日

廿二日

三月朔日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日

四月朔日六日七日八日九日

十日十一日

十二日

五月朔日十一日十二日十三日

十四日十五日十六日十七日十八日

十九日

二十日

六月朔日

儀

正月元日二日三日九日十日十一日

十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日三十日

二月

朔日二日三日四日五日六日

七日八日九日十日十一日十二日

十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日二十日二十一日

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

廿月十七日十八日十九日元

一廿月廿一日廿二日廿三日

廿月廿四日廿五日廿六日

廿月廿七日廿八日廿九日

不六日廿七日

廿月廿八日廿九日三十日

十六日十七日十八日十九日

十月十二日

廿月十六日十七日十八日十九日

十六日十七日十八日十九日

十八日十九日二十日廿一日

廿月廿二日廿三日廿四日廿五日

廿月廿六日廿七日廿八日廿九日

十九日二十日廿一日廿二日

廿月廿三日廿四日廿五日廿六日

廿月廿七日

金七夜廿一年

新



新

月二十九日

九月

合

月

正月

十七日十八日十九日

二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日

廿五日廿六日

廿七日

廿八日

廿九日

ノナ

左のナ

右のナ

太  
名

賊人

久

正月

十七日十八日十九日二十日廿一日廿二日  
廿三日廿四日廿六日廿七日廿八日  
廿九日晦日

孫女

二月

朔日二日三日四日五日六日  
七日八日九日十日十一日十二日  
十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日  
廿七日廿八日廿九日

孫女

三月

朔日二日三日四日五日六日  
七日八日九日十日十一日十二日  
十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日  
廿七日廿八日廿九日

孫女

四月

朔日二日三日四日五日六日  
七日八日九日十日十一日十二日  
十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日  
廿七日廿八日廿九日

孫女

五月

朔日二日三日四日五日六日  
七日八日九日十日十一日十二日  
十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日  
廿七日廿八日廿九日

孫女

六月

朔日二日三日四日五日六日  
七日八日九日十日十一日十二日  
十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日  
廿七日廿八日廿九日

合

七

合

月  
日  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二

文

上  
月  
相  
日  
二  
日  
八  
日  
九  
日  
十  
日  
十一  
日  
十二  
日

合

# 太名

正月 元日 二日 九日 十日 十一日 十二日

十三日 十四日 十五日 十六日 十八日 十九日

廿日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日

廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 晦日

不月 年

二月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日

七日 八日 九日 十日 十一日 十二日

十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日

十九日 九日 九日

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

合 不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

不月 年

八月二日 七日

九月五日

十月十二日  
元分修系小

十月十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十一月一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十二月一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

合

合

九月十五日 十六日

九月十五日

九月十五日

熊手

正月 九日 二日 八日 十二日 十三日 十四日

十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日

廿七日 廿八日 廿九日 海日

二月 十八日

二月 朔日 二日 三日 四日 五日 十日

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日

十七日 十八日 十九日 九日 九日

十七日

三月 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月 十八日 十九日 二十日 二十一日

三月朔日二日  
 六日七日八日  
 十一日十二日十三日  
 十六日十七日十八日  
 廿一日廿二日廿三日  
 廿六日廿七日廿八日  
 廿九日三十日

合月終

合月終

(Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page)

正月廿六日廿七日廿八日廿九日

合月終



前記

正月廿日六日十七日十八日十九日

廿日廿一日廿二日廿三日廿四日

廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日

初一日

二月朔日

二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日

十四日十五日十六日十七日十八日十九日

二十日廿一日廿二日

廿三日廿四日廿五日

廿六日廿七日

廿八日廿九日

三月初一日初二日初三日

初四日

今之月

九月八日九日

九月

九月一日

九月二日三日四日五日六日七日八日九日

九月十日十一日十二日

九月十三日十四日十五日

九月十六日

九月十七日

九月十八日

九月十九日

休

九月廿五日 日 廿六日 日 廿七日 日 廿八日 日 廿九日 日 十月一日 日 十月二日 日 十月三日 日 十月四日 日 十月五日 日 十月六日 日 十月七日 日 十月八日 日 十月九日 日 十月十日 日 十月十一日 日 十月十二日 日 十月十三日 日 十月十四日 日 十月十五日 日 十月十六日 日 十月十七日 日 十月十八日 日 十月十九日 日 十月二十日 日 十月二十一日 日 十月二十二日 日 十月二十三日 日 十月二十四日 日 十月二十五日 日 十月二十六日 日 十月二十七日 日 十月二十八日 日 十月二十九日 日 十月三十日 日

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十月 朔日

十月 初一日

十月 初二日

十月 初三日

十月 初四日

十月 初五日

十月 初六日

十月 初七日

十月 初八日

九月八日九日

清長

九月十六日十七日

合

九月九日晦日

清長

九月

九月九日

合

九月

九月九日

清長

合

十四  
九月

正月元日二日

三日

是日

四日八日九日十日十一日十二日十三日

十四日

四月九日二日九三日不日

五日

五月九日十日十一日十八日十九日

六日

六月九日

七日

八日

十月六日

九日

十一月九日十一日十二日不九日

十三日

十二月十一日十二日十四日十五日

十六日

十九

合不

正月十七日十八日十九日 与

正月十七日十八日十九日 与名師

廿日廿一日廿二日廿三日廿四日

廿六日廿七日廿八日廿九日

左

新

三

1

子 卯 日 七 日 利

子 卯 日 七 日 利

子 卯 日 七 日 利

正月十九日廿一日廿二日廿四日廿七日

廿八日廿九日

子

子

正月 五 日 廿 日 廿 一 日 廿 二 日

侍

九 日 廿 四 日 廿 五 日 廿 六 日 廿 七 日 廿 八 日

九 九 日 晦 日

二 月 朔 日 二 日 三 日 四 日 五 日 六 日

七 日 八 日 九 日 十 日 十 一 日 十 二 日

十 三 日 十 四 日 十 五 日 十 六 日 十 七 日 十 八 日

十 九 日 九 日 九 一 日 九 二 日 九 三 日 九 四 日

不 立 日 不 六 日 不 七 日 九 八 日 九 九 日 晦 日

三 月 朔 日 二 日 三 日 四 日 五 日

六 日 七 日 八 日 九 日 十 日

十 一 日 十 二 日 十 三 日 十 四 日 十 五 日

十 六 日 十 七 日 十 八 日 十 九 日 九 日

九 一 日 九 二 日 九 三 日 九 四 日 九 五 日 九 六 日 九 七 日

九 八 日 九 九 日 晦 日

四 月 一 日 二 日 三 日 四 日 五 日

六 日 七 日 八 日 九 日 十 日

十 一 日 十 二 日 十 三 日 十 四 日 十 五 日

十 六 日 十 七 日 十 八 日 十 九 日 九 日

九 一 日 九 二 日 九 三 日 九 四 日 九 五 日

九 六 日 九 七 日 九 八 日 九 九 日

五 月 朔 日 二 日 三 日 四 日 五 日

六 日 七 日 八 日 九 日 十 日

十 一 日 十 二 日 十 三 日 十 四 日 十 五 日

十 六 日 十 七 日 十 八 日 十 九 日 九 一 日

九 一 日 九 二 日 九 三 日 九 四 日 九 五 日

九 六 日 九 七 日 九 八 日 九 九 日

六 月 朔 日 二 日 三 日 四 日 五 日

六 日 七 日 八 日 九 日 十 日

十 一 日 十 二 日 十 三 日 十 四 日 十 五 日

十 六 日 十 七 日 十 八 日 十 九 日 九 日

九 一 日 九 二 日 九 三 日 九 四 日 九 五 日

九 六 日 九 七 日 九 八 日 九 九 日 晦 日

七 月 朔 日 二 日 三 日 四 日

てり

三二四五六七八九

五十六日七八

九月十一日十一日十二日

丁巳 丁未 丁酉 丁亥 丁丑 丁卯 丁巳 丁未 丁酉 丁亥 丁丑 丁卯

十七日十八日十九日

五十二日五

不旦 日 不六 日 不七 日 不八 日

十九日



元九三日不写

① 後三時

元九三日不写

初四日

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

初四日

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

元九三日不写

① 初四日

正月

元日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

不月

二月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

不月

三月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

不月

四月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

五月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

不月

六月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

不月

七月

朔日二日三日四日五日六日七日  
八日九日十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日二十日  
廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日  
晦日

八月

九

六日七八九十

十七日十八日十九日二十日二十一日

第九日

工  
日  
十二日  
十三日  
十四日  
十五日  
十六日  
十七日  
十八日  
十九日  
二十日  
二十一日  
二十二日  
二十三日  
二十四日  
二十五日  
二十六日  
二十七日  
二十八日  
二十九年  
三十年

不日不日不日不日不日不日不日不日

李木九

六日  
七日  
八日  
九日  
十日

[illegible]

二月二日

六  
日  
七  
日  
八  
日  
九  
日  
十  
日

三  
日  
七  
日  
六  
日  
九  
日  
九  
日  
日

10

十一日 田志田正

不日  
至一日  
不亡  
日不  
四日  
不立  
日

...

10

合

吾和法乎

合部月曆

正月元月二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日

二月朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

三月朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日

四月朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

五月朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日

六月朔日二日三日四日五日六日七日

八日九日十日十一日十二日十三日十四日

十五日十六日十七日十八日十九日二十日

廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日



合 二 月 廿 五 日 午

同 乙未年

二月 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 三十一日 十六日

三月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日

四月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日

五月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日

六月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日

七月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日

合 二 月 廿 五 日 午

初海河

二月 十八日 十九日 九日 九日 九日 晦日

三月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

四月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

五月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

六月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

七月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

八月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

九月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

十月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

十一月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

十二月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

正月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

二月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

三月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

四月 朔日 八日 十九日 十九日 九日 九日 一日

合

子

徳島県立文庫

ナリカ

十月三日 四日 五日

今

△

ナリカ

ア

四日 五日 十一日 十二日



二月九日

〇

卯  
望  
人

二月九日

〇

今  
望  
人

正月  
廿四  
十一日  
廿五日  
廿六日  
廿七日  
廿八日  
廿九日  
三十日

卯  
望  
人

正月  
元日  
十一日  
十五日  
廿一日  
廿二日

九之日  
九日  
九日  
九日

二月廿五日

12  
11  
10  
9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1

九

二月九日 晦日

八六

三月

三月九日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十日 丁巳日 丁巳日

丁巳

是日 丁巳日

三月十一日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十二日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十三日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十四日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十五日 丁巳日

丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十六日

合云 丁巳日

三月十七日 丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

丁巳日

丁巳日 丁巳日 丁巳日 丁巳日

三月十八日

三月十九日

三月二十日

三月二十一日

七  
り  
九  
日  
し  
る  
る

三  
り  
木  
日

合  
二  
る

お  
り  
る  
る

# 南山

每歲

十月 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日

月 人

十月 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

月 人

十一月 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

月 人

十二月 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

月 人

月 人

月 人

月 人

家名

十月 酉日 十一日 十六日 十七日 十八日  
十九日 不四日 不五 日 不六 日 不七 日  
不八 日 不九 日

接人 羊

十一月 朔日 二 日 三 日 四 日 五 日  
六 日 七 日 八 日 九 日 十 日  
十一日 十二日 十三日 十四日 十五日  
十六日 十七日 十八日 十九日 二十日  
二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日  
二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

今方修

十二月 朔日 二 日 三 日 四 日 五 日  
六 日 七 日 八 日 九 日 十 日  
十一日 十二日 十三日 十四日 十五日  
十六日 十七日 十八日 十九日 二十日  
二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日  
二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

今方修

十一月 朔日 二 日 三 日 四 日 五 日  
六 日 七 日 八 日 九 日 十 日  
十一日 十二日 十三日 十四日 十五日  
十六日 十七日 十八日 十九日 二十日  
二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日  
二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

今方修

今方修

十二月 朔日 二 日 三 日 四 日 五 日  
六 日 七 日 八 日 九 日 十 日  
十一日 十二日 十三日 十四日 十五日  
十六日 十七日 十八日 十九日 二十日  
二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日  
二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

今方修

十一月 朔日 二 日 三 日 四 日 五 日  
六 日 七 日 八 日 九 日 十 日  
十一日 十二日 十三日 十四日 十五日  
十六日 十七日 十八日 十九日 二十日  
二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日  
二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

今方修

今方修

不日不日不日不日  
不日不日不日不日

合  
不日不日不日不日

不日不日不日不日

不日不日不日不日

不日不日不日不日





一  
卷